

『(仮称) 美しい港の景観形成計画』の検討について

1 これまでの経緯

横浜市において、臨海部の景観は関内やみなとみらい、山手といった特徴的な地区をはじめとして工業地区や物流地区など、様々な景観要素を有する重要な景観の一つです。また、『エキサイトよこはま 22 (横浜駅周辺大改造計画)』の取組や、既存ふ頭の土地利用転換が検討されるなど、インナーハーバーエリアの景観は今後大きく変化していく可能性があります。

これらの状況を踏まえて、横浜市では、今後のインナーハーバーエリアにおける景観形成の考え方を示す『(仮称) 美しい港の景観形成計画』の検討を行っています。

今後、改訂予定の港湾計画や、検討を進める『都心臨海部再生マスタープラン』とも調整を図ったうえで、策定をめざします。

平成 21 年度	◇横浜市インナーハーバー検討委員会より、「都心臨海部・インナーハーバー整備構想」提言書が林市長に提出される (3 月)
平成 22 年度	◇インナーハーバー地区の都市づくりの取組について、各事業における概ね 10 年の中長期戦略や、先行的に推進する向こう 4 か年の取組をまとめた『中期的取組方針』を取りまとめ (3 月)
平成 23 年度	◇関係局が協力連携し取組を進めるため、副市長を会長とする『横浜市美港推進連絡調整会議』を設置 (11 月) ◇横浜駅周辺を含む都心臨海部が、「横浜都心・臨海地域」特定都市再生緊急整備地域に指定されるとともに、横浜都心部の一部が、「国際戦略総合特区」の対象地域に指定される (1 月)

2 検討のスケジュール

平成 23 年度	<課題検討基礎調査> ◇現地調査や他の港湾都市との比較検討、港湾が有する様々な機能における魅力や美しさの要素の抽出、課題整理等
平成 24 年度	<計画の基本的考え方検討>・・・美しい港の景観形成の基本的な考え方をまとめます。 ◇横浜港における景観要素の抽出や景観シミュレーションなどを行い、計画の基本的な考え方を検討 ◇第 4 回都市美対策審議会政策検討部会 (3 月)にて審議
平成 25 年度	<計画策定>・・・横浜港の美しい港の景観について、景観形成の基本的な構想としてまとめます。 ◇『(仮称) 美しい港の景観形成計画』を策定

3 今後の展開

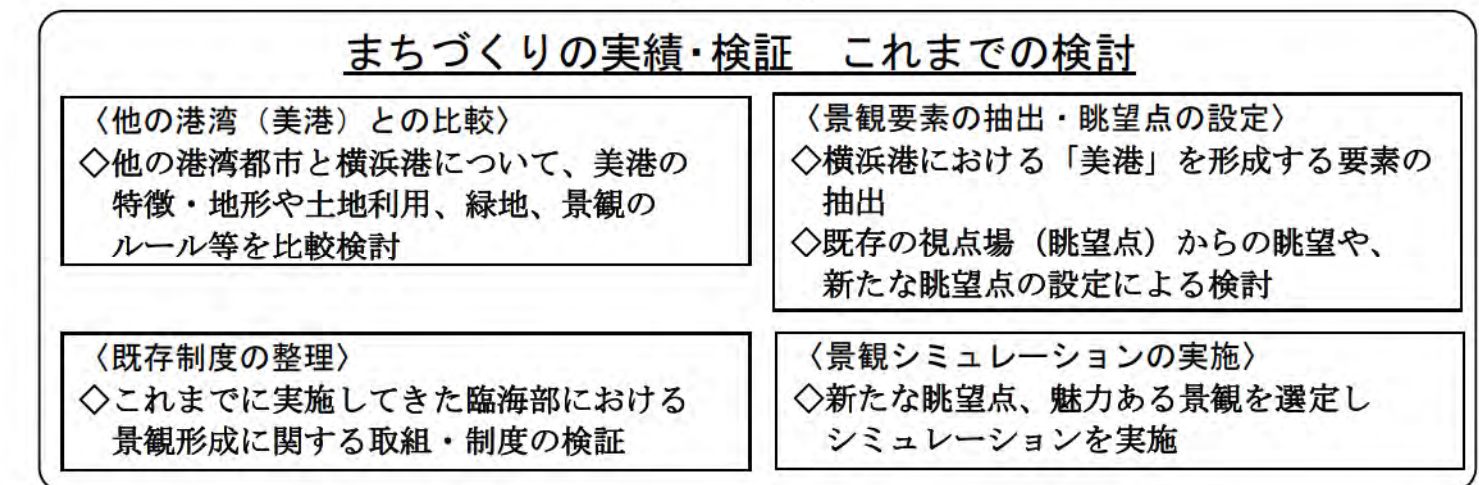
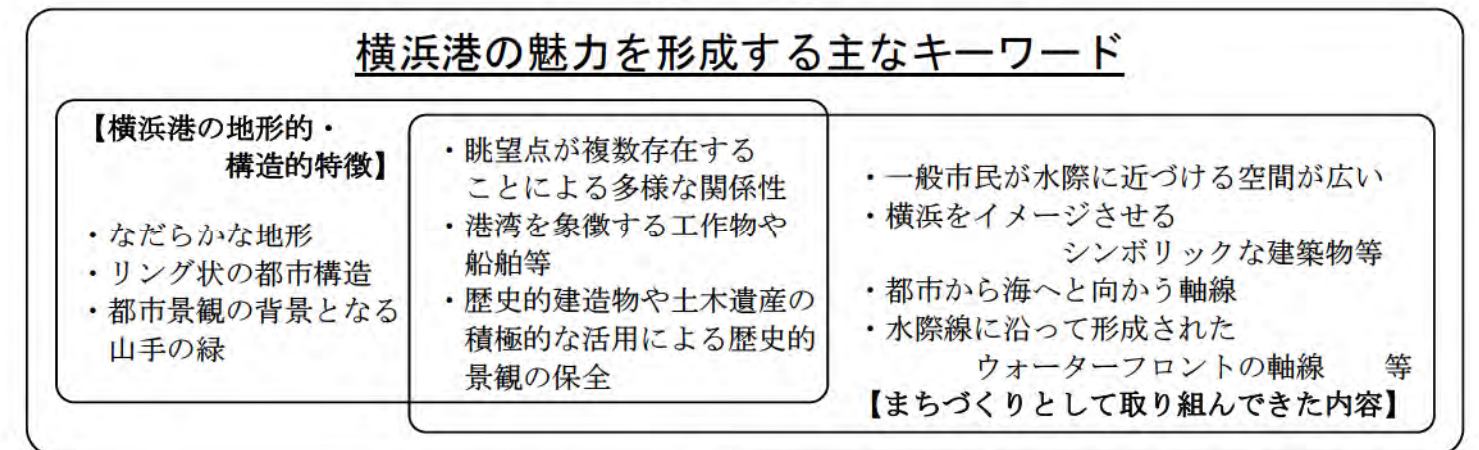
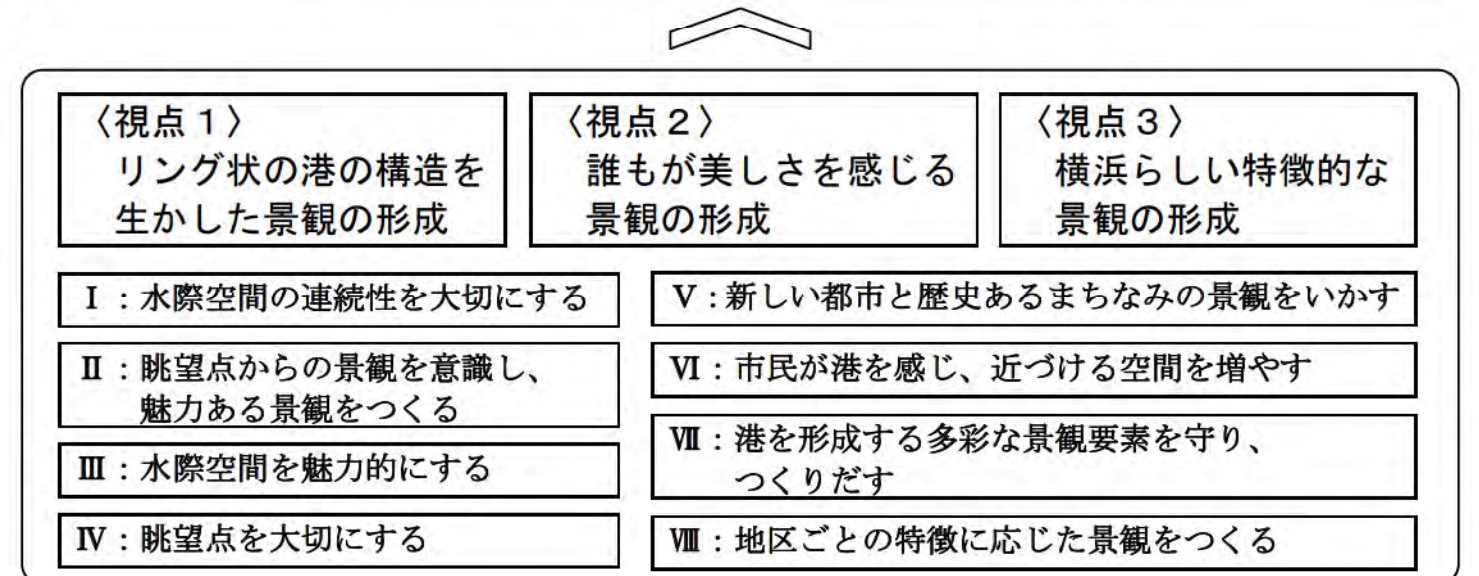
- ◇ 山下ふ頭の検討への反映
- ◇ 関内地区都市景観形成ガイドライン、みなとみらい 2 1 中央地区都市景観形成ガイドライン、みなとみらい 2 1 新港地区街並み景観ガイドラインの改定等への整合
- ◇ 都心臨海部再生マスタープランとの調整検討
- ◇ みなと色彩計画への整合

等

4 美しい港の景観形成に関する基本的な考え方 (平成 25 年 3 月時点案)

目標像

横浜港の多様多彩な美しい都市の景観



海上から眺める MM21 地区の景観



ランドマークタワーからのインナーハーバー全景を望む



臨港パークの親水護岸



MM21 地区の夜景



大さん橋から MM21 地区を望む景観



臨港線プロムナード上からの景観



マリントワー上からの景観



図面凡例

- 俯瞰景観眺望点 (BE)
- シークエンス景観眺望点 (SQ)
- パノラマ景観眺望点 (PV)
- ビスタ景観眺望点 (VV)
- 海上景観眺望点 (SP)
- 代表的な景観シンボル
- 景観上強く視認される建築物
- 美港景観上重要な歴史的資源

